

## ご挨拶

初春の候、皆さまにおかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

また、日頃より新潟市会議員たむら要介の政治活動にお力添えを賜っておりますこと、心より感謝申し上げます。

昨年4月に2期目の再選を果たしていただき、はや1年が経過いたしました。新たな中原市政のもと、今まで以上に充実した1年を送らせていただきました。まだまだ学ぶことばかりではありますが、着実に前進させていただいた年であったと思います。

また、早いもので、議員となり5年、家族ともども中野小屋に移住して10年が経過しました。今年は節目の年であることから、皆さまに感謝と御礼をお伝えさせていただく機会を設けさせていただければと準備をしておりましたが、この状況での開催は難しいと思い、ご挨拶に代えさせていただいた次第です。

2月から始まった定例会は、途中でコロナウィルス感染者が判明し、一般質問の中止という前代未聞の事態となりました。私自身も質問に立つ予定でしたが、こればかりは仕方がありません。市長、職員には感染対応を行いながらの審査を継続させていただき、何とか3月23日に令和元年度補正予算、令和2年度予算案など全議案を可決いたしました。今後、議会は一旦閉会しますが、閉会中審査という形で対応を継続いたします。

国内外にコロナ感染が拡大し続けるなか、学校の休校を皮切りに、数々のイベント等が中止、延期となりました。日々の経済活動も停滞し、夜の街も閑散とした状況が続いています。残念ながら、この視えない敵と対峙する日々の終わりは未だに見えていません。

終息がいつになるのか。我々の生活や、経済への影響は避けられませんが、必ずや、遠からず終わりが見えるはずです。また、その先の展望はリーマンショックとは違い、比較的描きやすいものであるはずです。とにかく、今は人命を守ることを第一に、知恵を絞り、協力し合い、何とか被害を抑え、守り繋ぐこと、我々はこれを最大限に支援することで何とかこの難局を乗り切る。微力ですが、私も中原市長をお支えするとともに、議員として全力で行動してまいります。

どうか皆さまもお体には十分ご自愛ください。難局を一緒に乗り越えたうえで、美味しいお酒を酌み交わさせていただきたいと存じます。

いよいよ新年度に突入いたします。2期目、2年目もどうぞよろしく願いいたします。



令和2年春

新潟市議会議員

田村 要介

◆田村 要介（たむらようすけ）

昭和43年6月16日生まれ 51歳 私立青山学院大学経営学部卒業

地元建設会社社員、衆議院議員公設秘書を経て・平成27年市議会議員初当選

平成31年2期目当選

（主な役職）委員会：議会運営委員会、総務常任委員会、農業活性化特別委員会所属  
会 派：翔政会副幹事長

（党 派）自由民主党新潟支部（広報部長）

（主な役職）西地域農業振興協議会副会長	認定こども園・私立幼稚園協会顧問
全日本不動産協会新潟支部顧問	新潟市造園建設業協会顧問
新潟県ビル管理協同組合顧問	新潟県産業循環協会新潟支部顧問（本年より）
新潟西道路複線化期成同盟会顧問	信越ガラスクリーニング協会顧問（本年より）
解体建設業協会新潟支部顧問	ドローン普及協会顧問
獵友会新潟西支部顧問	アルビレックスランニングクラブ顧問 等

◆令和元年度、主な取り組み成果をご報告いたします。

(教育関連)

・就学費補助制度、補助枠の見直しを延期～令和2年度予算

集中改革プランの実施により、令和2年度より小中学校の就学費補助の枠が減少する予定でしたが、見送りすべきと申入れを行いました。主旨をご理解いただき、市長、教育長に英断をいただいています。補助メニューの拡充もあり、制度枠全体で増額となりました。

(福祉関連)

・未満児保育補助制度の見直しについて

年度半ばに行われた制度見直しについて、認定こども園、私立幼稚園、私立保育園からあがった声を市政に全力で届けました。遡及期間に対する園との見解の相違の訴えを認めていただいています。

(防災関連)

・避難所開設方法が変わります～令和2年度予算

議場での訴えが事業化いたしました。災害発生直後の避難所、特に津波避難ビルの開錠について、暗証番号方式での開錠が認められ、一部予算化いたしました。これにより「鍵が開かず、避難できない」というリスクは低減されます。緊急性の高い避難箇所については、パニックオープン型を求めています。

(経済関連)

・スタートアップ企業助成制度の創出～令和2年度予算

私の訴えとは違う形になりましたが、本市の若手職員を中心に構築した面白い取り組みがスタートいたします。県と連動して創業支援、起業支援策を展開していきます。

・新規企業用地の早期創出に向けて

7か所の企業用地の市計画決定に目途がつかしました。早ければ本年夏ごろから造成工事が始まります。民間主導の開発となりますが、企業誘致も含め、本市のかかわりはこれからも大きくなってきます。

(まちづくり)

・みどりのまちなか空間創造事業が予算化～令和2年度予算

念願の予算化です。魅力あるまちなか空間の創出に向けて、企業や市民と協同し、一体となった取り組みがスタートします。まずは公民連携での花壇整備や、公園の魅力アップなどが始まる予定です。

・西バイパス複線化の円滑な推進に向けて～令和2年度予算

昨年事業化された西バイパス曾和～明田区間複線化事業の円滑な推進のため、国への要望の継続いたしました。2年度は測量杭設置予算が認可される見込みです。道路の形が見えてきます。

(地域を守る)

・異常暖冬に対する対策として

本市においても、今年の異常暖冬は多くの除雪業者の悲鳴に繋がりました。令和元年度補正予算にて、除雪残分を主に道路維持補修にかかる工事として発注しています。

・各地の交通対策等を推進

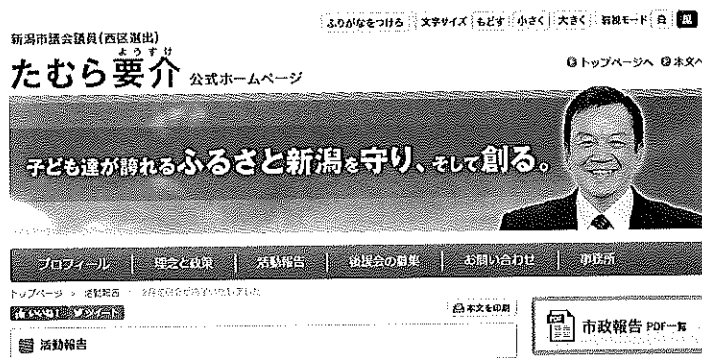
これは、ライフワーク、地域要望の橋渡しです。今年は槇尾交差点の右折信号、西川沿い道路の除草対策、西高校脇道路の市道化、舗装化などが成就いたしました。

\*上記全てを、「私がやりました！」とは言いません…でもお役に立てたはずですよ。

◆令和2年度、私はこれを中心に取り組みます。

- ①都市施策について、今年度10年ぶりの「都市政策マスタープラン」の改訂が行われます。これに対し、業界、地域の声を纏め、意見を反映させていきます。
- ②農業施策について、農家さんが抱える声をもう一度拾いなおし、元気な農業応援事業など、制度の抱える問題について、提言いたします。
- ③地域の抱える問題について、特に示された公共施設の配置方針に対し、地域の声を纏め、提言いたします。
- ④高齢化対策について、特に地域交通、いわゆる交通難民対策など、他都市の取り組みを参考に提言を行い、実証に繋げます。
- ⑤コロナ対策について、特に経済激変緩和対策について、国・県の施策に注視しながら、財政出動を含め、具体的な助成策を提言いたします。

ホームページ・ブログで活動を報告しております。「たむら要介」で検索ください。



お困りごとがございましたら、何なりとお申し付けください。

## 事務所

### たむら要介事務所

〒950-2162 新潟市西区五十嵐中島4-23-8 五十嵐中島テナントビル103

TEL: 025-378-0592 FAX: 025-378-0598

事務所は新潟西高校バス亭前のテナントビル内です。\*

ちょっと見はラーメン屋さんですが、お気軽にお立ち寄りください。

